

北海道179市町村のできる！を実現



木村としあき



木村としあき政経セミナー 北海道を元気にする処方せんを探る

「北海道を動かす会」主催の「木村としあき政経セミナー『北海道の処方せん』」が14日、札幌市内のホテルで開催され、北海道を元気にする処方せんについて有識者の皆さんから提言などいただきました。



▲コーディネーターの神原教授

冒頭、東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々に黙祷を捧



ら加工、販売までを行っている取り組み

「所得が上がらないと元気がならない」と渡部教授は地域資源を活かした新たな産業モデルの創出と題して、オーストラリアの国鳥である「エミュー」を網走の活性化につながる新たな地域資源として、飼育から加工、販売までを行っている取り組み



▲左から渡部教授、徳田理事長、木村としあきのパネリスト三氏

を紹介すると共に、「所得が上がらないと地域は元気がならない。全員野球のように多くの皆さんがかかわることが大切」と強調しました。

■医療のロードマップが必要

また、徳田理事長は「独自で調べた詳細なデータを基に、医師や診療科偏在など、医療格差が広がっている北海道における地域医療の現状を踏まえて、高齢化に伴う人口減少や介護の課題を考慮し、地域を守护する医療・介護の守り」と訴えました。

東北地方太平洋沖地震で亡くなられた皆様に黙祷



14日の政経セミナーの冒頭、全出席者で黙祷を捧げました。また、会場ではカンパも募りました。

「国と市町村を知っている人は期待できる」と最後にコーディネーターの神原教授は「今後は地域主権の時代。市町村をサポートするの道庁の役割」とし、総務省、農水省、小樽市職員、経験のある木村さんに「国のことを知っている。両方わかっていて、期待できる」とまとめました。

「発進力を高め、愛着の持てる北海道に」木村としあきさんは「日常からの危機管理を含めて災害対策が必要」と訴えました。

◆出陣式 23日(水) 18時
◆第一声 24日(木) 8時30分(開始8時40分) 45分頃
ホテルニューオータニ札幌(中央区北2西1) 道庁東門前(中央区北3西5)